

## 平成29年度第2回宇都宮市民大学運営協議会

日 時 平成29年8月4日（金）

午前10時30分～

会 場 人材かがやきセンター研修室

（中央生涯学習センター5階）

### 次 第

1 開 会

2 挨拶

3 報 告

（1）宇都宮市民大学における館外学習に係る運営について・・・資料1

4 議 題

（1）平成29年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について・・・資料2

（2）平成29年度宇都宮市民大学後期講座の実施について・・・資料3

（3）平成30年度宇都宮市民大学の実施について・・・資料4

5 その他

6 閉 会

## 宇都宮市民大学運営協議会委員名簿

任期：宇都宮市民大学運営協議会運営要領第4条の規定による期間  
(平成28年9月1日～平成30年8月31日)

平成29年4月1日現在

No.	氏名	所属団体等役職
◎ 1	あいば えつお 饗庭 悦夫	作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 事務局長
2	かとう たけお 加藤 文雄	宇都宮大学 企画広報部企画広報課長
3	かわしま やすお 川島 育郎	株式会社栃木放送 報道制作局長
○ 4	かわもと きよし 川本 清	帝京大学 宇都宮キャンパス 事務長
5	こだち ちゅうじ 小太刀 忠治	宇都宮共和大学 事務局長
◇ 6	こばり きょうこ 小針 協子	とちぎボランティアNPOセンターぽぽら コーディネーターリーダー
7	すずき かずよし 鈴木 和芳	株式会社 下野新聞社 編集局総務部長
◇ 8	のなか まさと 野中 正知	公益財団法人 とちぎ未来づくり財団 事務局長
9	はせがわ きょうこ 長谷川 京子	宇都宮市生涯学習センター運営審議会 委員
10	みこがい ひさお 御子貝 久男	宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ

(五十音順)

◎ 会長      ○ 副会長      ◇ 監事

## 宇都宮市民大学における館外学習に係る運営について

## ◎ 趣旨

他市教委において、市民を対象に企画していたツアーが旅行業法に違反するニュース等があったことから、宇都宮市民大学における館外学習に係る運営に関して状況報告するもの

## 【現状】

## ● 宇都宮市民大学における館外学習の運営状況

- ・ 市民大学専門講座において、座学講座のほか、館外学習を実施している。
- ・ 講座企画・運営については、講座企画者（講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ））が作成し、行先の手配など調整を行っている。
- ・ バスの借上げについては、事務局が行い、その費用は、原則、下表のとおり館外学習参加者が一部負担している。（残額は事務局（受講料含む）負担）
- ・ バス代以外についても以下のとおりとなる。

内容	費用額（一人あたり）	補足
バス代	1,000円	行先に関わらず一律負担
保険料	50円	同業者へ通年依頼
拝観料	適宜	団体割引適用の場合あり
資料代	適宜	
昼食代	事前受付の場合徴収	

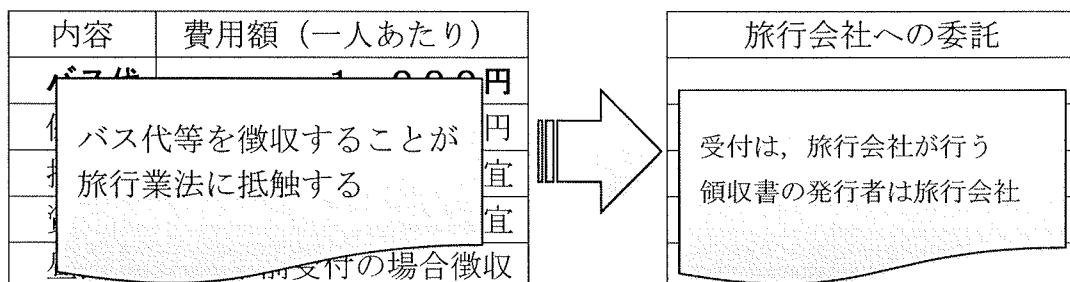
\*参加費用は予め、事務局が徴収している

## 旅行業務の定義

平成 29 年 6 月 2 日 栃木県産業労働観光部観光交流課観光地づくり担当へ電話確認

報酬を得て、旅行者と運送・宿泊サービス提供機関の間に入り、旅行者が「運送又は宿泊のサービス」の提供を受けられるよう、複数のサービスを組み合わせた旅行商品の企画や個々のサービスの手配をする行為

つまり、「参加者を公募し、参加費を収受した時点で旅行業法に抵触する」としており、主催団体が利益を得ない場合も徴収は認められていない。



## 【対応】

- 前期専門講座においては、関東バス旅行社に受注型企画旅行として業務委託を行い実施した。（※ 館外学習の費用は、参加受講生が実費負担）

## 平成 29 年度宇都宮市民大学前期講座実施状況について

## 1 合同開講式・公開講座

## (1)開催日時

平成 29 年 5 月 26 日 (金) 午後 2 時～午後 4 時

## (2)会場

文星芸術大学 第 1 キャンパス 南校舎棟 2 階 大講義室

## (3)参加者数

受講生 157 名

## (4)合同開講式

## ア 実施内容

- ・ 主催者挨拶 宇都宮市教育委員会 教育長 水越 久夫  
文星芸術大学 学長 上野 憲示 氏
- ・ 受講者証交付 宇都宮市教育委員会教育長より受講者代表 2 名へ交付

## イ 受講者の感想・意見

- ・ 受講生 300 名超と聞いて、好奇心を燃やしている高齢者がいることが分かり、学ぶ仲間がたくさんいることを知り励みになった。
- ・ 物事、始まりがあって、終わりがあるように、開講式「よーし！がんばるぞ！」と気持ちが引き締まった。
- ・ 若い人も参加していてよかった。
- ・ 場所が遠すぎる。各専門講座で開講式を行うか、または、開講式、公開講座はなくてもいいのではと思う。

## ウ 評価

受講者のアンケートでは、8 割以上が「とても意義がありよかった」「どちらかといえば意義があった」と評価している。

受講者が一堂に会する唯一の機会であることや、共催事業として文星芸術大学で開催したことは、受講者の学習意欲の高揚や満足度の向上に繋がったものと考えられる。

## (5)公開講座

## ア 実施内容

- ・ 講 師 文星芸術大学 美術学部 教授 ちば てつや 氏
- ・ テ ー マ 「マンガ家生活 60 年を越えて  
～母はマンガが大っ嫌いだった！！～」
- ・ 講義内容 ちばてつや氏自らが、自身の生い立ちや生き方などについて語るとともに、イラストを描くにあたって手軽にできる表現法など、実践を交えながら、マンガの魅力を伝えた講座。

## イ 受講者の感想・意見

- ・ ちばてつや先生の半生を、イラストで描きながら楽しく話して下さったので分かりやすかった。マンガの表現方法の多様性なども理解できた。
- ・ 講師の人柄がよく出ていた。大学で学生を指導する姿勢に共感した。
- ・ 実話が面白かった。講師との時代背景が懐かしかった
- ・ 作家として人生の柱は親の影響が大きいこと、考えさせられました。若い人がこのような機会の出会いがあると良いと思う。

## ウ 評価

受講者アンケートでは、「とてもよかった」「どちらかといえばよかった」の意見が95%と、非常に満足度の高い講座であった。

特に、プロのマンガ家である講師が、実際に描いている姿を見せながら講演をしてくださり、これまでにはなく、受講者の興味を引く内容となった。受講者からは「人生の豊かさ、心の広さを学んだ」「面白かった」「人生の励みになった」との声が多く寄せられ、本講座の目的である人生を前向きに楽しむきっかけづくりに繋がったものと考察される。

⇒ 別紙1参照

## 2 専門講座

### (1)講座数

6講座（※公開講座を除いた回数はそれぞれ5回～7回）

### (2)周知方法

広報うつのみや（平成29年4月号）、市ホームページ、パンフレット、チラシ、新聞記事

### (3)開催期間

平成29年5月30日～7月24日（公開講座を除く）

### (4)募集定員等

募集定員310名、応募者数539名、受講者数311名、修了者数264人(84.9%)

### (5)実施状況

⇒ 別紙2参照

平成29年度宇都宮市民大学前期合同開講式・公開講座実施報告



◇開催日時:平成29年5月26日(金) 午後2時～午後4時  
 ◇開催場所:文星芸術大学第1キャンパス 南校舎棟2階 大講義室  
 ◇受講者数:157名  
 ◇アンケート回収数: 107名(68.2%)  
 ◇出席来賓:0名  
 ◇出席主催者:11名  
 ◇運営スタッフ:16名

受講者について(全体)		区分	人数	割合
<p>(1) 年齢</p>		1 20歳未満	1	1%
		2 20代	2	2%
		3 30代	2	2%
		4 40代	1	1%
		5 50代	2	2%
		6 60代	58	54%
		7 70代	33	31%
		8 80歳以上	7	7%
		無回答	1	1%
合計	107	100%		
<p>(2) 性別</p>		区分	人数	割合
		1 男性	54	50%
		2 女性	48	45%
		無回答	5	5%
		合計	107	100%
<p>(3) 公開講座と専門講座</p>		区分	人数	割合
		1 公開講座のみ受講	6	6%
		2 公開講座と専門講座を受講	100	93%
		無回答	1	1%
		合計	107	100%
アンケート結果 合同開講式について		区分	人数	割合
		1 とても意義がありよかった	27	25%
		2 どちらかといえば意義があった	65	61%
		3 どちらかといえば意義があるとはいえない	6	6%
		4 意義があるとはいえない	6	6%
		無回答	3	3%
合計	107	100%		
公開講座について		区分	人数	割合
		1 とてもよかった	90	84%
		2 どちらかといえばよかった	12	11%
		3 どちらかといえばよくなかった	0	0%
		4 よくなかった	0	0%
		無回答	5	5%
合計	107	100%		

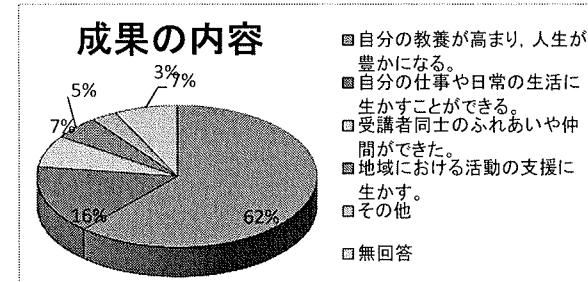
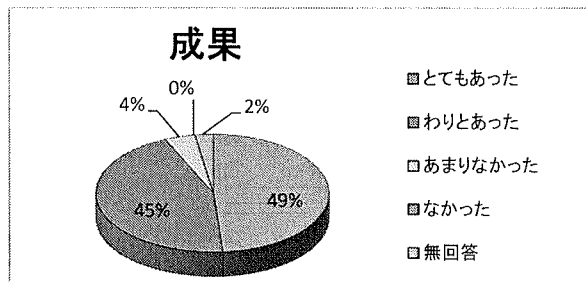
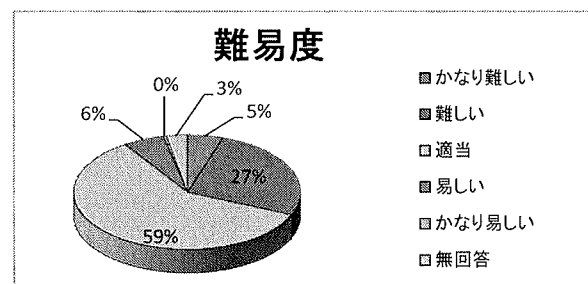
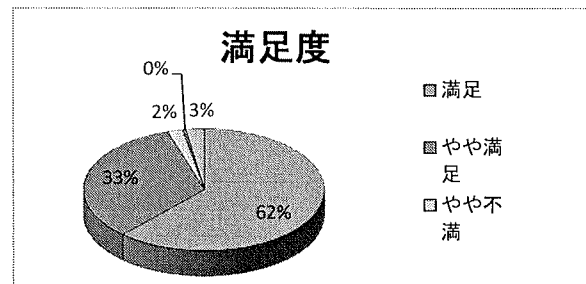
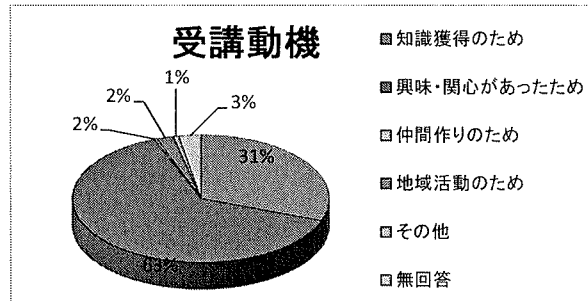
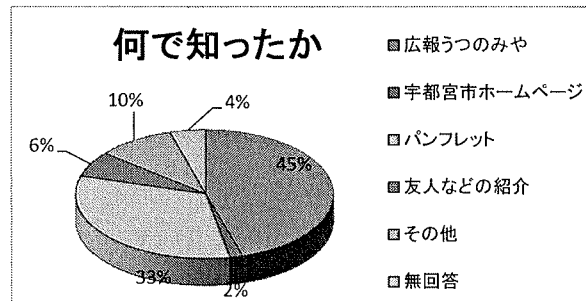
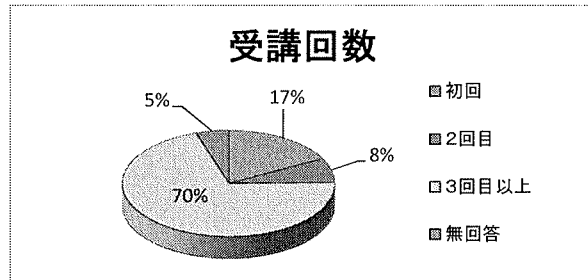
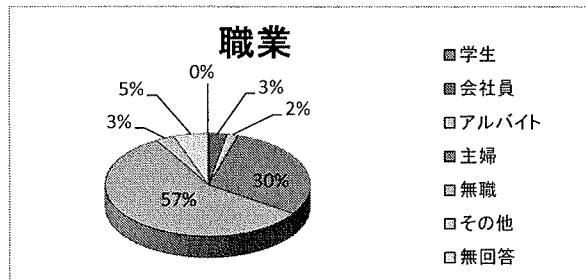
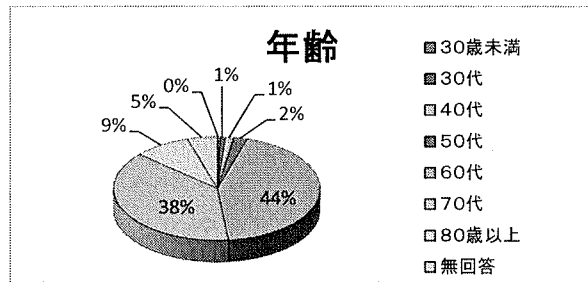
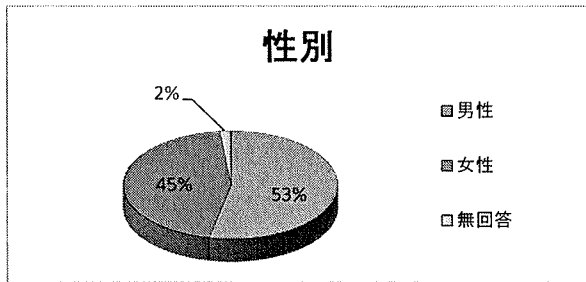
コース	講座名 (開講数)	講師	開催期間	(募集定員) [応募者数] 受講決定	受講者数 [修了者数] 修了率	講座の評価
I	宇都宮市の近現代 (全7回)	宇都宮市文化財保護審議会委員 大嶽 浩良 氏	6/2～ 7/14	(50) [114] 51	49 [43] 87.8%	市民大学の受講者に人気の高い歴史的要素を取り入れた講座で、定員の2倍を超える申込みがあった。明治期から終戦にいたる宇都宮の近現代史を中心に学ぶことで、昭和時代の宇都宮の街の変遷を知ることができた。また、戦時中の女学生が軍需工場で働いた手記からは、戦争について改めて考える機会となった。
II	世界を見る、世界が見る、宇都宮 ～踏み出そう！ 国際社会人への第一歩～ (全7回)	NPO法人宇都宮市国際交流協会 理事 丸山 秀彦 氏 講師 マイエル・ギヨム 氏 講師 柳田 文 氏 宇都宮大学 国際学部 教授 松金 公正 氏 准教授 スエヨシ アナ 氏 宇都宮大学 留学生・国際交流センター 准教授 湯本 浩之 氏 宇都宮大学 地域デザイン科学部 教授 中村 祐司 氏	5/30～ 7/11	(50) [49] 45	42 [31] 76.6%	毎回異なる国をテーマに、歴史や文化、国民生活などを学び、宇都宮市に居住する外国人と実際に触れ合うことや、ワークショップによる受講者同士のコミュニケーションを図ることで、知識を深め国際理解に繋がった。
III	日本刀の魅力を探る ～世界が認めた究極の美～ (全7回)	日本美術刀剣保存協会 栃木県支部 参議 刀匠 加藤 慎平 氏 刀装・刀装具 小谷 肇 氏 刀剣 金井 弘 氏 研師 枝松 孝治 氏	5/30～ 7/11	(50) [58] 50	50 [40] 80.0%	刀匠による製作過程の実演、日本刀の歴史、刀装、鑑賞、鍛冶場見学、研師の実演などを学んだ。なかでも鍛冶場見学や、日本刀を実際に手にして鑑賞するという貴重な体験ができたことは受講者にとっても有意義だった。伝統の技と技術が匠の手によって継承され、美術品としての日本刀を再認識することができた。
III	円空仏の微笑みに魅せられて ～円空に出会う旅～ (全5回)	文星芸術大学 美術学部 准教授 大澤 慶子 氏 興雲律院 住職 中川 光熹 師	6/1～ 6/29	(50) [168] 51	48 [44] 91.7%	円空仏に造詣が深い日光を訪ね、非公開の円空仏を複数体を拝見し、それまでに学んだ円空仏の魅力に十分触れることができた。また、図書館所蔵の円空仏の写真集などを展示したことで、さらに円空仏の魅力とその時代を学ぶ知識が広がる機会となった。
III	最新の宇宙研究 ～宇宙138億年を旅する～ (全7回)	宇都宮大学 名誉教授 田原 博人 氏 国立天文台 名誉教授 海部 宣男 氏 NPO法人「宇宙こども未来の会」会長 JAXA(宇宙航空研究開発機構) 名誉教授 平林 久 氏	6/5～ 7/24	(60) [101] 80	75 [65] 86.6%	最新の望遠鏡について、日本が世界に誇れる観測技術の高さについて、映像を交えわかりやすく説明したいという講師の想いが資料にも反映されていた。受講者の質問が毎回多く、これからも益々進化し続ける天文学の技術を市民大学の講座で学ぶ機会が出来たことは、高度な専門的知識の学びに繋がった。
III	アートがひらく多様な世界 (全6回) [文星芸術大学連携講座]	文星芸術大学 学長 上野 憲示 氏 文星芸術大学 美術学部 教授 多田 夏雄 氏 教授 田中 誠一 氏 准教授 吉田 利雄 氏 准教授 中村 寿生 氏 文星芸術大学 地域連携センター センター長 長島 重夫 氏	6/5～ 7/10	(50) [49] 47	47 [41] 87.2%	日本画、洋画、彫刻など、様々な分野の芸術作品に触れ、日本の伝統的な画材を間近で鑑賞し、大学生による日光二荒山神社天井画の制作など、アート作品の制作意図や過程などを知り、アートの造詣が深まるとともに大学の地域貢献活動を知る機会となった。
【コース名】 I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース II 今を読み解く現代社会コース III 暮らしを彩る教養コース				募集定員	310人	【総合的な評価】 6講座中4講座について定員を超える申込みがあり、5講座において修了率は80%以上であった。また、受講者アンケートに関しても、成果が「とてもあった」「わりとあった」との回答が、概ね全体の95%を占めた。(参考1参照) これらの結果を踏まえると、各講座とも受講者の高度で専門的な学習ニーズに応え、知的好奇心を刺激する企画内容であったことから、満足度の高い講座提供につながったものと考察される。
				応募者数	539人	
				受講決定数(開講前)	324人	
				受講者数(開講後)	311人	
				修了者数	264人	
				修了率(修了者/受講者)	84.9%	

(参考)受講者の感想・意見
<ul style="list-style-type: none"> <li>宇都宮市に生まれ育ったが知らないことも多く、とても勉強になった。</li> <li>今回、宇都宮の近現代を学び、街中を歩いても、今まで気づかなかった歴史的に意味があるものが目に付くようになった。</li> <li>戦後の発展がもたらした問題にも注視し、これから考えていく力になった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>フランスの話聞いて、慣習等が理解できた。</li> <li>外国のことが少しわかって、世界観が少し変わった。</li> <li>外国人講師や、日本人講師による外国での生活した実体験の話は良かった。</li> <li>中国・フランス・ネパールと各国の歴史や現状と日本の関わり等を聞き、改めて日本の良さや平和のありがたさを感じた。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>本物の「人」「実物」「やり方」を五感で感じ、「本」「話」を超える理解ができた。</li> <li>真剣を手にとって、見られたときは感動した。</li> <li>刀匠の鍛冶場を見学して、日本刀が完成するまでの工程の一環を見られ感動した。</li> <li>文化的価値、技術を継承していくことが重要だと思った。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>荒削りの円空像が好きだったが、加えて微笑みの美を知った。</li> <li>個人的には出来ない、実物(円空仏)を見るなど貴重な体験ができた。</li> <li>講師による、円空の胸の中を聞いて感動した。</li> <li>文化財の取扱いとして、写真禁止など、注意事項を徹底してもらいたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>かなり専門的な内容でしたが、最新の宇宙を開けて満足でした。</li> <li>「解らない事」を解明する繰り返しの話を聞き、宇宙の奥深さを再認識した。</li> <li>世界への日本の貢献、日本の研究水準に講師の方々が果たして来た様子を肌で感じる事ができました。</li> <li>難しかったが、講師の先生が工夫してくださり、解らないながらも面白かった。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の美術の見方、また、アニメーションマンガの見方が変わった。</li> <li>芸術に必要な画材を見せていただいたことがうれしかった。</li> <li>日本画の画材や技法の説明は良かった。日本画の画材技法を聞いて見方が変わった。</li> <li>学生が寺院の天井画を描いたのは驚いた。</li> </ul>

【今後の課題】
<ul style="list-style-type: none"> <li>新規受講者の取り込み 新たな受講者を取り込むため、市民大学への関心を高める講座設定や広報の方法を検討するなどの仕掛けが必要である。</li> <li>幅広い学習内容での講座の実施 市民の知的好奇心を満たし、生活に潤いや生きがいを与える講座を開催するためには、受講者ニーズの高い歴史や文学等の趣味教養的な講座のほか、現代的課題や旬の話題を取り入れた講座を実施していく必要がある。</li> </ul>

平成29年度宇都宮市民大学前期講座 アンケート結果

- 1 受講者数 311名
- 2 アンケート回答数 238名
- 3 アンケート回収率 76.5%





## 平成 29 年度宇都宮市民大学後期講座の実施について

## 1 合同開講式

専門講座受講者を対象に、合同開講式を開催する。

ア 日時 平成 29 年 10 月 23 日 (月) 午後 2 時～午後 2 時 20 分

イ 会場 宇都宮市役所 14 大会議室

## 2 公開講座

専門講座受講者及び一般市民を対象に、公開講座を開催する。

ア 日時 平成 29 年 10 月 23 日 (月) 午後 2 時 30 分～午後 4 時

イ 会場 宇都宮市役所 14 大会議室

ウ 内容 演題 私たちが若者に伝えられること～いきいき宇都宮 Life のススメ～  
講師 作新学院大学女子短期大学部教授 教授 西田 直樹 氏

## 3 専門講座

講座企画・運営ボランティアスタッフ企画講座を 4 講座 (No. 1, No. 2, No. 4, No. 5), 大学連携講座 (作新学院大学) (No. 6), 事務局企画講座 (平成 28 年度講座企画・運営ボランティアスタッフ養成講座修了生企画講座) (No. 3) を実施する。

ア 開催期間 平成 29 年 10 月～12 月

イ 開催回数 6 回～8 回 (公開講座 1 回を含む)

## 【後期専門講座内容】

No.	講座名	開催期間 (開催曜日・時間帯)
1	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 7 回) 修復師から見た日光の社寺 ～日本の宝を後世に伝える伝統職人の技～	10 月 28 日～12 月 19 日 (土曜日 午後)
2	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 8 回) 秀吉の知略!家康の戦略! ～秀吉の宇都宮・会津仕置から 家康の小山評定・関ヶ原の戦いまで～	10 月 30 日～12 月 11 日 (月曜日 午前)
3	I 郷土を愛する地域・文化・歴史コース (全 6 回) ぎょうざ・いちごに続け ONLY1 への挑戦 【平成 28 年度 V スタッフ養成講座修了生企画講座】	10 月 31 日～11 月 28 日 (火曜日 午前)
4	II 今を読み解く現代社会コース (全 7 回) どこまで進化する人工知能 (AI) ～人工知能 (AI) は人間の頭脳を超えるのか～	11 月 10 日～12 月 22 日 (金曜日 午後)
5	III 暮らしを彩る教養コース (全 6 回) 担当記者が見た司馬遼太郎さん ～街道についてゆく～	10 月 31 日～11 月 28 日 (火曜日 午後)
6	III 暮らしを彩る教養コース (全 6 回) キラッと輝く宇都宮 Life ～毎日を笑顔にする、さわやか学習メニュー～ 【作新学院大学連携講座】	11 月 6 日～12 月 4 日 (月曜日 午後)

※ 講座の実施会場は、人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター 5 階)

※ 各専門講座の (開講数) は、「公開講座」を 1 回分として含む

※ 午前⇒10時から正午, 午後⇒2時から4時

## 平成30年度宇都宮市民大学の実施について

### 1 平成30年度市民大学の実施について

#### (1)開催方針

市民大学事業については、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組んでいる。

また、本市の社会教育分野における基本計画である「第2次宇都宮市地域教育推進計画」において課題となっている地域における学習成果の活用の促進において、学んだ人材である講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）が学習成果や経験を生かせるよう、市民大学における講座企画立案や講座運営に携わることで活動の充実を図ってきた。

平成30年度事業については、市民大学の役割である高等教育機関との連携による、高度で専門的な内容で講座を実施するとともに、平成30年度改定の「第3次宇都宮市地域教育推進計画」を見据えて、一人ひとりが人間力を高めるため、主体的な学習活動に取り組めるよう、多様化する市民ニーズへの対応や、社会的課題、旬の話題を積極的に取り入れるなど、幅広い学習内容で展開することにより受講者満足度の向上や新規受講者の獲得等を図っていく。

#### (2)専門講座の実施方法等

専門講座のコース設定及び講座実施数については、平成29年度同様の3コース12講座とする。

##### ① コース設定（3コース）

###### ア 郷土を愛する地域・文化・歴史コース

地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座

###### イ 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き、暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

###### ウ 暮らしを彩る教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

② 講座実施数（12講座予定）

ア 前期（5～7月） 6講座

- ・内訳 Vスタッフ企画 - 5講座，大学連携 - 1講座

イ 後期（10～12月） 6講座

- ・内訳 Vスタッフ企画 - 4講座，大学連携 - 1講座

事務局企画 - 1講座（Vスタッフの市民大学への参画促進及び人材育成のため，前年度Vスタッフ養成講座修了生の研修を兼ねる）

③ Vスタッフ企画講座の選考方法

ア 募集要項

⇒ 別紙3参照

イ 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため，専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。

なお，Vスタッフのスキルアップと，講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として，Vスタッフの希望者に対して，選考委員会の傍聴及び模擬審査への参加を認める。

ウ 企画講座の決定

講座企画運営選考委員会の選考結果を踏まえ，運営協議会において決定する。

④ 受講者の決定方法

ア 申込者が募集定員以内の場合

- ・申込者全員を受講者として決定

イ 申込者が募集定員を超えた場合

- ・講師等との調整により，定員の増員について検討を行う
- ・次の人を優先的に受講決定後，抽選を行う

①前回申込をしたが抽選の結果落選となり，講座をひとつも受講できなかった人

②今回複数の講座に申込をしており，その講座すべてが抽選となる人

③今回初めて市民大学に申込をした人

ウ 抽選に漏れた申込者の救済措置

- ・キャンセルが発生した場合，キャンセル枠を落選者に提供する。（申込順）

### (3) 合同開講式・公開講座の実施について

平成30年度についても、引き続き「合同開講式・公開講座」を実施する。

- ① 合同開講式・・・専門講座受講者を対象とする。
- ② 公開講座・・・専門講座受講者及び一般市民を対象とする。

#### 【実施会場一覧】

	前 期	後 期
平成 23 年度	宇都宮大学 峰キャンパス	宇都宮市立南図書館
平成 24 年度	宇都宮共和大学 長坂キャンパス	帝京大学 宇都宮キャンパス
平成 25 年度	宇都宮短期大学 長坂キャンパス (20周年記念講演会扱い)	宇都宮大学 峰キャンパス
平成 26 年度	文星芸術大学	作新学院大学
平成 27 年度	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス	帝京大学 宇都宮キャンパス
平成 28 年度	宇都宮短期大学 長坂キャンパス	宇都宮大学 峰キャンパス
平成 29 年度	文星芸術大学	宇都宮市役所
平成 30 年度	宇都宮共和大学 宇都宮シティキャンパス	帝京大学

## 2 今後のスケジュール（予定）

- 8月下旬 第2回講座企画・運営ボランティアスタッフ連絡会議の開催
  - ・平成29年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項等の説明
- 10月中旬 宇都宮市民大学専門講座企画募集の締め切り・書類審査
- 11月上旬 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の開催
  - ・プレゼンテーション審査及び企画選考
- 11月下旬 第3回宇都宮市民大学運営協議会の開催
  - ・実施企画の決定

## 平成30年度宇都宮市民大学専門講座企画募集要項（案）

### I 平成30年度宇都宮市民大学の実施について

#### (1) 開催方針

市民大学事業については、「生涯学習センター主催講座」や「人材かがやきセンター主催講座」との差別化を図り、本市の生涯学習事業の中で唯一の有料講座として、心豊かに市民生活を送るための教養講座や、郷土愛を育む地域の文化・歴史講座など、市民の知的好奇心を満たし、生きがいや精神的な豊かさなど市民生活に潤いを与える学習機会の提供に重点的に取り組んでいる。

また、本市の社会教育分野における基本計画である「第2次宇都宮市地域教育推進計画」において課題となっている地域における学習成果の活用の促進において、学んだ人材である講座企画・運営ボランティアスタッフ（Vスタッフ）が学習成果や経験を生かせるよう、市民大学における講座企画立案や講座運営に携わることで活動の充実を図ってきた。

平成30年度事業については、市民大学の役割である高等教育機関との連携による、高度で専門的な内容で講座を実施するとともに、平成30年度改定の「第3次宇都宮市地域教育推進計画」を見据えて、一人ひとりが人間力を高めるため、主体的な学習活動に取り組めるよう、多様化する市民ニーズへの対応や、社会的課題、旬の話題を積極的に取り入れるなど、幅広い学習内容で展開することにより受講者満足度の向上や新規受講者の獲得等を図っていく。

#### (2) 専門講座の実施方法等

専門講座のコース設定及び講座実施数については、平成29年度同様の3コース

12講座とする。

##### ①コース設定（3コース）

###### ア 郷土を愛する地域・文化・歴史コース

地域の歴史や文化、産業、自然、民俗など地域の特質を学び、郷土に誇りや愛着をもつための講座

###### イ 今を読み解く現代社会コース

個人や社会を取り巻く環境がめまぐるしく変化する現代社会において、より賢く快適に暮らしていくため、社会の流れを読み解き暮らしや地域コミュニティに活かしていく知恵を学ぶ講座

###### ウ 暮らしを彩る教養コース

芸術・文学・科学のほか、先進技術など広範で学術的なテーマから深い教養を身に付け、潤いのある生活を送るための講座

## ②講座実施数 12講座

ア 前期（5～7月） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 5講座，大学連携 - 1講座

イ 後期（10～12月） 6講座

・内訳 Vスタッフ企画 - 4講座，大学連携 - 1講座

事務局企画 - 1講座（Vスタッフの市民大学への参画促進及び人材育成のため，平成29年度Vスタッフ養成講座修了生の研修を兼ねる）

## ③館外学習の実施について

専門講座では，日頃の学習確認を目的に，現地に赴き，実際の見学を通じた学びとして館外学習を実施してきた。館外学習を行うことで，受講者同士の交流促進や，受講者満足度が高まる傾向も見られ，講座の更なる充実を図ってきた。

しかしながら，現在の館外学習における手法が，旅行業法に抵触する恐れが出てきたことから，実施方法を変更し，平成29年度前期講座においては，旅行会社に「受注型企画旅行」として業務を委託し実施した。

今後における，館外学習の実施方法として，講師と連携を図りながら，安全面にも配慮し下記のとおり実施することとする。

ア 館外学習における事前調査行程表を企画者が作成する。

イ 講座実施が決定した企画に係る館外学習については，講座実施において館外学習が必要か企画者が作成した事前調査行程表を基に，館外学習の実施を判断する。

ウ 企画者が作成した事前調査行程表の内容が適切か，安全に実施できるかを事務局が現地を確認する。

エ 受講者の館外学習における費用は，実費負担とする。

オ 講座当日の館外学習における講師，企画者及び事務局の費用は，事務局が負担する。（企画者がグループの場合は上限3名分とする）

## ④Vスタッフ企画講座の選考方法

ア 選考会の実施

選考の透明性を確保し客観的な視点から講座を選考するため，専門的な知識を有する委員による講座企画運営選考委員会を実施する。

なお，Vスタッフのスキルアップと，講座企画選考委員会の実施状況の周知・理解を目的として，Vスタッフの希望者に対して，選考委員会の傍聴及び模擬審査への参加を認める。

イ 企画講座の決定

講座企画運営選考委員会の選考結果を踏まえ，運営協議会において決定する。

## II 市民大学専門講座の募集概要

次のとおり，専門講座の企画を募集する。

### 1 募集分野（コース）

- (1) 郷土を愛する地域・文化・歴史コース
- (2) 今を読み解く現代社会コース
- (3) 暮らしを彩る教養コース

※ 1 ページ I (2) ①コース設定参照

### 2 募集講座数

各コース合わせて9講座

### 3 応募資格

Vスタッフの個人またはグループを対象とする。

- ・平成13年度～17年度 宇都宮市生涯学習ボランティア養成講座修了生
- ・平成18年度～25年度 宇都宮市生涯学習コーディネーター養成講座修了生
- ・平成27年度～28年度 宇都宮市講座企画・運営ボランティアスタッフ養成講座修了生

### 4 応募方法

別紙の企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）を作成し，応募申込書を添えて平成29年9月22日（金）から10月6日（金）までに宇都宮市民大学事務局（人材かがやきセンター内）に直接またはメール，郵送（必着）で提出すること。

※ 応募書類の返却は不可

### 5 講座決定までの流れ

#### (1) 予備審査の実施

応募された企画を対象に，事務局による応募書類の確認を行う。

#### (2) 宇都宮市民大学講座企画運営選考委員会の実施

書類審査を通過した企画は，平成29年11月上旬に，選考委員会によるプレゼンテーション審査を実施する。講座企画運営選考委員会の日程については，応募書類提出時に連絡する。

#### (3) 宇都宮市民大学運営協議会における審議

上記選考委員会の審査結果を運営協議会に報告し，審議の上，採用する企画を決定する。選考結果については，応募者全員に通知する。

## 6 講座企画者の役割

採用された講座の企画者は、講座企画運営選考委員会の意見を取り入れるとともに、事務局担当者と協力して、講座内容のより一層の充実を図っていく。

また、講師との調整、広報紙等の校正協力、館外学習がある講座は事前調査を行うほか、講座当日の会場設営・進行・後片付けなど講座開催に関する業務を、別途募集する運営スタッフと協力して主体的に担う。

## 7 講座企画上の留意点

- (1) 講座回数は6～7回を標準として、8回を限度とする。(公開講座を除く)
- (2) 1回の講座時間は2時間。
- (3) 館外学習は1講座につき1回限りとする。(館外学習は2時間の枠にこだわらず1日の範囲で時間設定ができるので、企画書の中に概ねの時間及び場所を明記すること)
- (4) 開催時期については、前期講座は5月～7月、後期講座は10月～12月とし、同じ曜日、同じ時間帯を原則とする。
- (5) 講座開催会場は、人材かがやきセンター研修室(中央生涯学習センター5階)を使用すること。それ以外の会場を使用する場合は、企画書に必要性を併せて明記すること。
- (6) 受講料は、開講時に事務局が徴収する。(1回500円×講座回数分)
- (7) 受講料のほかに材料費やテキスト代、館外学習における見学科等の実費が想定される場合は明記すること。
- (8) 全ての講座において、託児サービスを設ける。(館外学習時を除く)
- (9) また、営利目的や特定の政党・候補者の利害に関する事、特定の宗教・教派・宗教・教団を支援する内容は認められない。
- (10) 講座の講師予定者と事前に連絡や相談などを行う場合には、講座は企画の段階であり、講座開催が確定していない旨を説明し、講師に誤解を与えることのないよう留意すること。
- (11) 講師依頼の際の謝金については、市民大学では別添資料「市民大学における講師謝金」に基づき支出している旨を説明する。該当区分を判断できない場合は、事務局に相談すること。(交通費については、県内通勤の講師を除き、県外からの講師にのみ支給する。ただし、車両での来場は支給の対象外とする。)
- (12) 講座決定後、館外学習を実施する場合は、予定している行程表を作成すること。



## 8 その他

- (1) 募集期間中における応募状況や他の企画内容についての問い合わせは不可とする。
- (2) グループ企画については、通知等をグループ代表者に一括して送付する。
- (3) 平成30年度の講座数は、Vスタッフ企画9講座，大学連携講座2講座，事務局企画（平成29年度Vスタッフ養成講座修了生企画）1講座とする。

### 【大学連携】

平成29年度	文星芸術大学，作新学院大学
平成30年度（予定）	宇都宮共和大学，帝京大学

- (4) 採用された企画には、企画運営に必要な費用を講座企画運営費として実費を交付する。（予定）（平成29年度実績：1講座3万円を上限）
- (5) 募集要項に記載のない事項については、事務局に確認すること。
- (6) 企画書（様式1）及び企画書学習プログラム（様式2）について、データ提供を希望する場合は、事務局に申し出ること。

## 「審査項目」と「審査基準」

(プレゼンテーション審査マニュアルより抜粋)

審査項目は、下表のとおりとする。

### 1 審査項目

(1)	社会ニーズ	社会の変化や要請，地域の特性や文化など，本市のまちづくりやコミュニティの発展，あるいは市民の郷土理解に資する社会的な視点やねらいが盛り込まれているか。
(2)	市民ニーズ	市民が求める高度で専門的な学習ニーズをとらえているか。
(3)	構成力	設定された講座のねらいに沿った各回の展開や組み立てがされているか，また実習やワークショップなど，学習効果を高めるための工夫がされているか。
(4)	運営力	適切な講師の想定，事前準備や講座運営に対する考え方など，確実に講座を運営していくための体制が整っているか。 <u>ただし，企画応募条件において，講師の確保までは求めないこととしているため，想定講師の受諾については審査に加味しない。</u>
(5)	発展性	講座を契機とするネットワークの形成，学んだことを実践し，生かせる仕組みづくりや導入，リーダー養成に資するスキルの習得など，受講者の行動や考え方の変化を促す効果があるか。

### 2 審査基準

点数	審査基準
5	とても優れている
4	優れている
3	やや優れている
2	やや劣っている
1	劣っている